

同志社大学司書課程・司書教諭課程主催 2015年度図書館見学会および見学記

(日程)

9月16日(水)

14:30 佐賀県伊万里駅集合

15:00-17:00 伊万里市民図書館見学

「ニューハートピア(武雄温泉)」に宿泊

9月17日(木)

9:20 ホテル出発

9:30-11:30 武雄市図書館見学

(オプション) 13:00-14:00 久留米市立図書館見学

14:30-16:30 小郡市立図書館見学

「ニューステーションホテル・プレミア(諫早市)」に宿泊

9月18日(金)

9:10 ホテル出発

10:00-12:00 諫早市立諫早図書館見学

(オプション) 13:00-17:00 諫早市立森山図書館、たらみ図書館、西諫早図書館見学

図書館見学記

ツアー全体

社会学部メディア学科 村上 りえ

今回7つの九州の図書館を見学させて頂きました。特に心に残っているのが伊万里市民図書館です。私は子供から大人まで楽しめる生涯学習施設という印象を受けました。図書館内の施設も様々な工夫がされていました。書ききれませんが、一例として天井に天の川が流れていて、子供達はその空間に居るだけで楽しめるようなお話室(のぼりがまのおへや、と名前が付いています。)、図書館が開催する企画展や、市民の方の作品展の際に使われる特別展示室・展示ホールなどがありました。また、年配の利用者の方が「武雄よりパツとしないけど良い所よ」とおっしゃられていて、地域の方々には伊万里市民図書館に愛着を持っているのだと感じました。

武雄市図書館・歴史資料館も見学させて頂きました。図書の分類が独特でした。自分が思ってもみなかった、自分が興味を持つような本を見つけられるような図書の並びになっていました。本棚をぼんやり眺めているだけで楽しかったです。様々なイベントが定期的に開催されていて、市民の方々にも好評のようでした。

見学をさせて頂いたどの図書館も特徴があり、魅力的でした。複数の図書館を回る事でそれぞれの特徴が分かりました。見学に行く事が出来て良かったと思います。

私は4回生なので卒業をします。これまで沢山の方々のお好意で図書館・博物館・資料館を見学させて頂きました。見学の中で、私は、働いている方は自館はどのような利用者の方がい

るのか、という事を把握して選書をしていたり、地域の特色によって、それに関連するイベントを開催したり、多くの事を考えて毎日業務をこなしていると感じました。それは、見学をさせて頂き、直接お話を伺う、といった事をしなければわからなかったと思います。

この年1回開催されている図書館ツアーは、普通に過ごしていたら一生行かないような遠方の図書館・資料館を見学させて頂きます。貴重な経験が出来て、そしてとても楽しいので、今後も続けて欲しいと思う企画です。

オプション：久留米市立中央図書館

文学部国文学科 木村友香

久留米市立中央図書館には、先生と学生二名という比較的少人数で伺いました。久留米図書館はミュージカル公演にも利用される久留米石橋文化ホールや石橋美術館などの文化的施設と同じく、ブリヂストン創業者の石橋正二郎氏から寄贈された久留米石橋文化センターの一部です。久留米駅からは少々遠いのですがバスがあるため目的に合わせて気軽に訪れることができ、市民の方々に幅広い目的で利用されています。自然に囲まれた空間で、リフレッシュにも最適なロケーションです。

久留米図書館の取り組みの特徴は、市民の方々が本に触れやすいように分館や移動図書館といった本館以外の施設も充実している点です。職員の方に詳しくこの取り組みについて伺いました。この本館以外の施設の取り組みは、施設の量を増やすよりもハンディのある方や図書館にアクセス的に行くのが困難である方の需要を意識して場所を絞ることに重きを置いているそうです。その分館や移動図書館の取り組みについては、久留米市のwebサイトの図書館の紹介ページで確認することが出来ますので石橋文化センターのサイトと合わせてご覧いただきたいです。

館内の様子は落ち着いており、参考図書の多さから蔵書が利用できる自習スペースを積極的に利用している人が多いように見受けられました。個人的に事典や参考図書の多さが魅力的に感じ、この近くに住んで定期的に利用したいものだと思います。

また自学自習についてですが、この久留米市立中央図書館には誰でも自由に利用できる自習スペースとしての学習室も存在します。こちらのスペースは学生の方を中心に人気があるそうです。

ほかにもこれが目的で来館される方もいるというほど多くの白書であったり、注目すべきコレクションが多くありました。また現地に伝わる伝承にまつわるマスコットキャラクターもプッシュしているのが見られて面白かったです。

案内・説明をしてくださった職員の方々と引率して下さった先生方、ありがとうございました。

オプション：諫早市立森山図書館、たらみ図書館、西諫早図書館

法学部政治学科 西村清宏

今回の九州地区図書館ツアーで私は最終日にオプションツアーとして長崎県の諫早市立諫早図書館の三つの分館を見学させていただきました。

最初に見学した森山図書館は日本最大の木造図書館で、天井が高く広々としており、木造ならではのぬくもりがありました。閲覧室のほかにも、展示室や、和室などがあり、様々なイベ

ントができるようになっていました。各スペースはかなり余裕をもって作られていて、ゆったりと過ごすことが出来そうだと感じました。ただ他の図書館と比べて、施設を利用したイベントが少ないことが少し惜しいなと思いました。

次に見学したたらしみ図書館は大村湾のすぐ側にあり、玄関までの回廊には町内の小学校や、幼稚園に割り振られたショーケースが並んでいて新聞や絵など生徒たちの様々な作品が展示されていました。館内には「貝のお部屋」という独特な形をしたお話室がありました。中は完全防音で内部では声がよく響くようになっていました。たらしみ図書館ではカウンターから見える場所に設置されているため常時解放されており、私達がうかがった時も親子が利用していました。また屋上には大村湾や周囲の景色が見える芝張りの野外劇場があり、子供達がとても喜びそうだと感じました。

最後に見学した西諫早図書館は公民館の中にあり、一階部分に一般の閲覧室があり、二階部分には子供用の閲覧室がありました。今回訪れた中では最も小さな図書館で、蔵書の収容スペースに苦労しているそうでした。しかし、らせん階段の下のスペースを利用して企画展示が行うなど、小さくても充実した施設にするため様々な工夫が行われていたことが印象的でした。

上記の他にも伊万里市民図書館、武雄市立図書館、小郡市立図書館、諫早市立図書館を見学させていただきました。どの施設も様々な工夫がある素晴らしい図書館で、これまで図書館に抱いていたイメージが大きく変わりました。来年もぜひ参加したいと思います。